

ユーザー会での交流で店長の引出しが増えたことを実感  
多様性が求められる時代のツールとして P-ASSIST を活用

ヒカリシステムの使命（遊びを創る。誇れる人生を創る）  
を果たすべく邁進中。

地域コミュニティを創造し「千葉を元気にする」を具現化。



株式会社ヒカリシステム  
代表取締役 金光 淳用氏

千葉県に、パチンコ店7店舗を展開。一昨年岐阜県へ新規出店を成功させた。  
会社のビジョン「遊びを創る」事業として、カラオケ・ネットカフェも展開する。  
また「千葉を元気にする」プロジェクトの一環として「コラボ de ハップス」を実施し、  
地元の街を盛り上げるためフリーペーパーを発行。  
今後はモバイル端末を活用した取組みを強化し、自分たちが暮らす街の魅力を  
より多くの人に届ける計画のようだ。「誇れる人生を創る」会社になるために、  
積極的に社内改革を進める代表取締役社長 金光淳用氏。  
10年先の個人の夢、会社の夢。その両方がかなう共通のビジョンづくりに奮闘中だ。

## 1. ユーザー会への積極的な参加

ピーアシストではユーザー企業様への情報発信（活用方法、新機能）やユーザー企業間のコミュニケーションを目的としたユーザー会を隔月で開催している。先日第10回を開催したがヒカリシステムからは会の発足時から述べ90人もの積極的な参加いただいているため、ユーザー会について聞いてみた。

**金光氏**「もともと遊技台設備投資効率を上げるために増台減台の意思決定を早くするというコンセプトはあったが、どのように進めるかは定まっていませんでした。そんな折、他法人の事例として具体的な考え方、運用方法を紹介いただき自社でも同様の取組みをすることで成果を上げている店舗もある。さらに、お店の意思決定の仕方、方針の決め方、方針そのものを決められる権限の人たちが幅を広げることですごく変わってきた。自分たちだけでは解決できない事、リソースを外に求めていくことで成長するし、成果も上げられると考えている。」

社員が世の中に貢献できるようなスキルを経営者、会社として提供していきたいと語る金光氏の強い意志が伝わってくる。

## 2. エースで4番である必要はない

多様性が求められる時代なので店長一人が常に全てをこなすことは難しくなってきた。このような時代に店長に求めるものは何だろうか。金光氏に聞いてみた。

**金光氏**「店長に求めるものは、お客様を含めたチームビルディングです。業務は道具を使うことで分散化出来ます。機械的なものはどんどん権限移譲すれば良い。得意な人が得意なことをやれば良い。店長は必ずしも『エースで4番』である必要はないと考えています。求められるものはキャプテンシーではないでしょうか。」

実際、ヒカリシステムでは店舗運営において、担当コース制を採用し店長に集中しがちだった業務の権限移譲を推進している。権限移譲、業務の分散化はP-ASSISTのユーザーアカウントの多さからもうかがえる。基本的に営業数値の情報制限は設けていないようだ。

**金光氏**「店長はチームの監督、コーチという役割は変わらないがキャプテンとしてチームワークの構築、チームでの成功体験を増やしてほしい」と金光氏は語る。

### 3. IT活用に関して

ヒカリシステム様は全社員に iPad を支給したりいろいろなサービスを利用していることから IT 活用に積極的だ。IT について意見を聞いてみた。

**金光氏**「バックグラウンドに僕が好きというのがあると思う(笑)。技術が変われば、仕事の仕方が変わる。効率が変わる。精度が変わる。例えば電話の登場、FAX、Eメール等、その部分に先んじて活用した会社が成功してきた歴史があると思います。昨日よりも今日、今日よりも明日のほうが、良いやり方があるはず。ITは新しい技術が解りやすい形で提供される好例です。」

新しい技術にアンテナを張り柔軟に対応しようと考えているようだ。

**金光氏**「最初からリテラシーが高い人間などいません。使わなければ解らない。使っていくうちにだんだんなじんでいくものと認識しています。人を早く育てる環境を創りたいという事を実現するにはIT抜きではスピードアップは難しい。」という言葉からも人材育成に力を入れているということが伺える。

新しいサービスが増えることで現場からはまたアカウントが増えることの不満もでることがあるようだが、自分の知らないものを受け入れていくという風土が組織としてできているようだ。

**金光氏**「IT活用は推進していますが、やはり face to face のコミュニケーションは必要ですね。信頼関係を構築するためにもこの部分は不可欠でしょう。」という意見は弊社も全く同感である。

P-ASSISTはクラウドでのサービス提供という性質から、サポートもインターネットが主となる。ユーザー会はユーザー企業間を含めピアアシスト関係者みんなのコミュニケーション、交流、勉強の場としたいと説明したが共感して頂いた。

自社だけでなく地域一体の成長のために尽力するヒカリシステム様の今後のますますの発展を期待する。

### Corporate Profile

#### 株式会社ヒカリシステム

設立：1976年5月

資本金：7500万円

従業員数：427名(グループ計)

売上高：196億円

店舗数：8店舗

設置台数：2745台(P 1906台 S 839台)

特徴：休日休暇年間104日(週休2日)

長期休暇制度

ラスベガス研修

全社員にiPad支給

他事業：ネットカフェ(1店舗)

カラオケ店(7店舗)

フリーペーパー出版(鎌ヶ谷・白井・船橋)



500店舗を超える協賛店が参加。フリーペーパーを発行し、「千葉を元気にする」プロジェクトを推進中